

市民意識調査からの課題

令和元年度に実施した市民意識調査での結果から

1 文化芸術に対する関心の程度

全体では6割近くが関心を持っている

2 文化芸術についての吹田市のイメージ

施設の整備やイベント等の数については肯定的な意見が多いものの、国際的な文化交流についてや、子供の文化芸術に触れる機会については否定的な意見が多く、また総合的に見た文化芸術のまちづくりについても評価が低い。

今後は、若い世代への機会の提供や、外国に文化的ルーツを持つ人等との交流の機会の創出を積極的に行う必要がある。

3 文化芸術活動の状況と活動意向

文化芸術活動に参加しやすくなると思うことは、「身近なところに活動の場所や機会がある」「魅力ある内容活動が行われる」「情報が入手しやすくなる」が高くなっている。

場所や機会の提供に加え、情報発信に力を入れる必要がある。

4 文化芸術の振興により地域社会にもたらされる効果として、期待すること

効果として期待することについては、「市民が生きる楽しみを見出だせる」「仲間づくり」「子供の心豊かな成長」が高くなっている。

一方で「観光客や移住者の増加」への期待は低い。また、「多様性、寛容性のある違いを認め合える社会の実現」「国際交流、多文化理解の促進」なども低い値となっている。

生きる楽しみや交流、子供の育ちへつながる施策を推進するとともに、文化の持つ社会包摂の機能を認知してもらう取組についても検討する。

5 文化芸術に関して市が取り組むべきこと

「子供が文化芸術に親しむ機会の提供」「文化施設の利用しやすさ」「市内の施設やイベントの情報の提供」についてのポイントが高くなっている。